

野菜の展望

いよいよ桜の開花時期となりますが、天候は不安定で気温の上下動が大きい傾向にあります。野菜の生育にも多少の影響はあるものの、平年並みの天候推移であれば、入荷量は少なかった前年を上回る事が期待されます。

季節商材の筍は表年にあたります。上旬が九州地区と徳島・和歌山産中心の入荷です。中旬から石川産も加わりますが、表年のため、前年を上回る入荷量が期待されます。山菜は能登地区が中心で、ふきのとうは上旬でほぼ終了となりますが、せんな・あさつき・野芹・野みつば・こごみ・たらの芽・行者にんにく・こしあぶら等は、例年並みの入荷量が予想されます。

果菜類の胡瓜は高知主体で群馬・愛知産に加えて石川産の入荷です。南瓜はニュージーランド産を中心に、沖縄産の入荷で、下旬よりメキシコ産も加わります。ピーマンは高知・鹿児島・茨城産の入荷です。豆類ではインゲンが高知・鹿児島産、砂糖えんどうは静岡・愛知産、キヌサヤが愛知・鹿児島中心の入荷となります。トマト・ミニトマトは愛知産主体に熊本・岐阜産の入荷です。

葉洋茎菜類のレタスは兵庫・茨城産、ブロッコリーは高知産中心に愛知・九州・石川産の入荷となり、冬作から春物へと作型が移行します。キャベツは冬系が愛知産、春系では愛知産を中心に千葉・神奈川産の入荷です。白菜は茨城・長崎・熊本・福岡からの入荷、葱は束物が鳥取・大分産、5kgバラ詰めは埼玉・群馬産の入荷となります。ほうれん草は茨城・群馬・岐阜・福岡中心に石川産の入荷です。蒔は愛知(知多地区)産の入荷で、春蒔の最盛期を迎えます。

根菜類の大根は千葉産主力に九州産の入荷で、人参は徳島中心の入荷となります。蓮根・甘藷とも石川産主力に茨城産の入荷となり、石川産の産地残量は平年よりも少ない見込みです。牛蒡は青森産中心に、一部中国産の入荷。菌茸類は椎茸が石川産菌床物中心で、長野・徳島・富山・兵庫産、原木物は石川産露地物「のと115」主体の入荷となります。榎茸は長野産主力で、しめじ類は長野・新潟産主力の入荷。舞茸・エリンギについては新潟・長野産中心の入荷です。きのこ類は比較的安定した価格が予想されることから拡販期待の商材です。

土物類は馬鈴薯が鹿児島産主体で、北海道産の残量と長崎産も加えての入荷となります。玉葱は北海道産貯蔵物と愛知・九州産の新玉葱の入荷となります。北海道産の切り上がりは平年並みですが、府県産のスタートはやや遅れる予想です。生姜は高知産の入荷となります。順調な入荷が予想され、相場は前年並みで推移する見込みです。

4月は新しい年度のスタートです。例年以上に各種イベントやGWを前に多彩な販売企画を立案の上、販売拡販にご協力をお願い致します。

《野菜第三部部長 杉本智則》

果実の展望

各地から開花の便りが届き、いよいよ春本番を迎える季節となりました。

苺は愛知・鹿児島・長崎・福岡産の入荷で、3番果から四番果の出荷となり、各産地共に順調な入荷が見込まれます。

長崎産の枇杷はハウス物でLサイズ主体の入荷となります。各産地共に気温低下の影響により10日程の生育遅れが散見されますが、下旬より出荷ピークを迎えると予想され、例年をやや下回る出荷量となる見込みです。

柑橘類は鹿児島産の紅甘夏、三重産のサンフルーツや佐賀・愛媛産のデコポン・清見オレンジ、和歌山・愛知産のセミノール等の入荷があります。鹿児島産紅甘夏と愛媛産のデコポンは平年並みの入荷ですが、それ以外は天候不順により生産量は少なめの見込みです。愛知産のハウスみかん（JA蒲郡市）は、前年と同時期の4月19日頃より入荷が始まり、週2回（月・木）の販売を予定しています。

りんごは青森産の入荷で、サンふじ・シヨナゴールド・王林中心の入荷。玉流れについては小玉傾向で40・46玉主力での入荷となります。

西瓜は熊本産主力の入荷で、作付面積は前年よりやや減少し、入荷量も減少となります。小玉西瓜については中心産地の群馬産の生産量が減少しているため、熊本・長崎産等の入荷も予想されます。

メロン類は静岡・高知・熊本産からの入荷がありますが、各産地共に作付面積は年々減少しています。鹿児島・熊本産のアンデス・クインシーメロン・雑メロン等についても同様の状況が見受けられます。

施設物については、桜桃は中旬、デラウェアは下旬からと、今月についてはまだ入荷は少ないと予想されます。

輸入果実のバナナでは、フィリピン産は日照不足による生育不良の影響から入荷量少なく、高値で推移すると見られます。南米産については順調な入荷が見込まれます。オレンジはカリフォルニア産ネーブル種主体で安定した出回りとなり、玉サイズは大玉中心へと移行します。グレープフルーツはフロリダ産の入荷終了が4月上旬までと、前年同様の早い切り上がりとなります。それ以降はイスラエル・カリフォルニア産グレープの入荷となります。レモンはカリフォルニア産主体の入荷が見込まれます。パインはゴールデン種・スウィーティオ種の入荷となり、需要期を迎えて高値推移が見込まれます。その他果実ではカリフォルニア産のミネオラ・マーコット、メキシコ産のハネデューメロン、チリ産レッドグローブ（赤系ぶどう）、オーストラリア産シードレスブドウ、メキシコ・タイ産マンゴー、フィリピン産パパイヤ等の入荷です。マンゴーはこれから最盛期に向かい安定した入荷が見込まれます。

今月も、何卒宜しく御願い申し上げます。

《常務取締役（野菜本部長） 大西 信哉》